教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		101

事業名：教育委員会委員費

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	1	教育委員会費

節	金額（千円）
1 報酬	1,452
9旅費	131
19負担金補助及び交付金	25
計	1,608
補助金等の有無	有 ・ (無)

〔 有 の 場 合 〕

名称	
金額	

〔 事務・事業の写真等 〕

〔 事 務 ・ 事 業 の 概 要 〕

１　目的及び効果

教育委員会は、学校教育、生涯学習、社会教育などの教育事務を行う地方教育行政機関です。教育、芸術、文化を含む事務などを５人で組織した教育委員が客観的に審議、決定しています。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容

⑴学校、その他教育機関の設置、管理、廃止に関すること。
⑵職員の任免、人事に関すること。
⑶生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
⑷学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導等に関すること。
⑸児童・生徒、教職員の保健、安全、厚生福利に関すること。
⑹学校給食に関すること。
⑺青少年教育、女性教育、社会教育に関すること。
⑻スポーツ、文化財に関すること。

・会議の開催状況　　付議された案件

定例会	12回	議案	25件
臨時会	4回	報告・協議等	199件

４　その他事項

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置しています。

・経費の内訳

委員報酬1,452千円　費用弁償118千円　会議負担金18千円

☆　決算額の推移

決　算　額　の　状　況

年度	H１９	H２０	H２１	H２２	H２３
決算額	1,597	1588			
対前年比		-9			

☆　指標で表せない効果等

特記なし

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

教育を取り巻く環境が変化する中で、教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していかなければならず、より一層の活性化を図ることが求められています。

〔事業方向性〕
継続
〔予算方向性〕
継続

事業開始年度

事業終了（予定）年度

点 検 ・ 評 価 に あ た っ て 特 記 す る 事 項 等

会議の開催にあたっては、経費の節減に努めるとともに効率的な執行を図りながら、教育行政に係る重要施策を審議・決定し、町教育行政の向上に寄与している。また、教育委員会がより実効的な活動をするため、学校訪問を引き続き実施します。

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

教育委員会は、教育行政の施策について客観的に審議、決定する機関として法に基づき設置されており、適正な執行が行われています。
併せて、教育委員自ら学校訪問を行うなど、教育現場の現状など積極的な把握に努めており、今後も教育課題の的確な把握、さらには教育行政全般の一層の活性化を図っていただきたい。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		102

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	1	教育委員会費

節	金額（千円）
1．報酬	374
9．旅費	135
11．需用費	6
13．委託料	423
計	938

補助金等の有無　（有）・無

〔有の場合〕

名称	へき地児童生徒援助費等補助金
金額	296

〔事務・事業の写真等〕

〔事務・事業の概要〕

1　目的及び効果

学校保健安全法第23条に基き、学校医（医師・歯科医師・薬剤師）を置き、学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導を受ける事を目的としています。

2　事業主体

厚真町教育委員会

3　事業内容及び対象者等

(1)　児童生徒の健康診断の実施
①内科医　　全児童・生徒の内科健診実施（365名）
②歯科医師　全児童・生徒の歯科検診実施（365名）
③内科・歯科医師による就学時健診（翌年度小学校入学予定者）の実施（内科・歯科検診）
(2)　学校環境衛生検査（年2回・10月、2月）の実施
①照度、温湿度、二酸化炭素濃度の検査を実施

4　その他事項

関連法令　学校保健安全法

☆　決算額の推移

決算額の状況

年度	H１９	H２０	H２１	H２２	H２３
決算額	997	938			
対前年比		-59			

☆　指標で表せない効果等

学校保健法等の定めに基づき実施しているものであり特記事項はありません。

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準備等	1	2	③	4	5
運営面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財政面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

指標で表せない効果等と同じ

点検・評価にあたって特記する事項等

学校保健安全法等の定めに基づき実施しているものであり特記事項はなし

事業名名：学校医等管理事業

〔事業方向性〕
継続
〔予算方向性〕
継続

事業開始年度

事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準備等	1	2	③	4	5
運営面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財政面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため学校医との連携は大変重要なものがある。
自己評価のとおりと判断しますので、今後も法に基づいて適正に進めてください。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		103

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	1	教育委員会費

節	金額（千円）
21.貸付金	24,200
計	24,200
補助金等の有無	有　・（無）
〔　有　の　場　合　〕	
名称	
金額	

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

育英資金は、学習意欲のある者で、大学・短大・専門学校の就学に対し学資を貸与し、経済的負担を軽減することを目的としています。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容及び対象者等

（１）　対象者

国内の大学、高等専門学校及び専修学校の専門課程等その他これらに相当する国外の学校に在学するもので、成績優秀であって経済力の低い者に貸与する。

①貸付限度額　月額５万以内（１万円単位）
②新規貸付者　大学8名、短大1名、専門学校4
　　計13名　貸付金額　7,800千円
③継続貸付者　大学20名、短大1名、専門学校7名
　　計28名　貸付金額　16,400千円

４　その他事項

①貸付所得制限　（財）日本学生支援機構貸付基準所得の2倍ま
②償還期間　貸付を受けた期間の３倍の期間
　　（１年間の償還最低額２０万円）
③平成１７年中学校卒業者における貸付希望率　２２，４％

☆　決算額の推移

決　算　額　の　状　況					
年度	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
決算額	24,500	24,200			
対前年比		-300			

☆　指標で表せない効果等

進学指向が高くなっているため、必要とする町民が増加傾向にあります。執行については、補正予算により希望者全員に貸付を行うよう対応しています。

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

指標で表せない効果等と同様

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

1 就学費用が増加傾向にあり、経済的負担が大きくなっています。
2 貸付限度額の引き上げも検討が必要であります。

事業名
育英資金貸付事業
継続
〔予算方向性〕
継続
事業開始年度
昭和３３年
事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

進学する者にとって経済負担が軽減される大変有意義な制度であり、自己評価のとおり妥当ではないか。今後、貸付限度額の引き上げを
を検討してください。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		104

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	1	教育委員会費

節	金額（千円）
19.負担金補助及び交付金	300
計	300
補助金等の有無	有　・　(無)

〔　有　の　場　合　〕

名称	
金額	

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

中村奨学金及び近藤奨学金は、両氏の寄付により設立され、厚真町に在住する者の子弟に対する資金の一助とするため、奨学金を給付することを目的としています。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容及び対象者等

対象者

厚真町育英資金貸付条例の規定に基づき、育英資金の貸付の決定を受けた者で、かつ、大学に進学する者の内から町長が決定したもの。

⑴４年生以上の大学　年額５万円

⑵短期大学　年額３万円

４　その他事項

⑴近藤奨学金　本年度までの給付人員

大学　９４名　　短期大学　３２名　　計１２７名

⑵中村奨学金　本年度までの給付人員

大学　２３名　　短期大学　４名　　計　２７名

☆　決算額の推移

決算額の状況					
年度	H１９	H２０	H２１	H２２	H２３
決算額	300	300			
対前年比		0			

☆　指標で表せない効果等

中村氏と近藤氏の善意による制度であり、就学費の一助となっています。

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

指標で表せない効果等と同様

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

1 育英資金貸付事業とは異なり、寄付金を元にした給付事業であり近年の低金利では果実がなく、毎年原資が減少している。

事業名名：奨学金給付事業

継続

〔予算方向性〕

継続

事業開始年度：昭和

事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

寄付金を元にした給付事業のため、原資の減りが見られるが、就学者にとっては学費の一部となる貴重な援助制度といえます。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		105

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	1	教育委員会費

節	金額（千円）
11.需用費	1,812
12.役務費	248
13.委託料	294
15.工事請負費	6,510
18.備品購入費	417
19.負担金補助及び交付金	140
計	9,421
補助金等の有無	有　・（無）

〔　有　の　場　合　〕

名称	
金額	

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

教員住宅維持管理は、住環境を整備することにより教員の確保を図るものであります。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容及び対象者等

対象者　厚真町立学校に勤務する教員　66世帯

⑴需用費　住宅修繕料
⑵役務費　火災保険料
⑶消防設備・浄化槽維持管理委託料
⑷工事請負費　ユニットバス設置・浄化槽設置等
⑸備品購入費　ストーブ等購入
⑹負担金補助及び交付金　浄化槽工事分担金

４　その他事項

・保有教員住宅　４２棟
・教員入居住宅　２４棟　入居率　５７％
・一般住民入居状況　18棟
・空き家状況　０棟
・平成20年度大規模改修
（屋根・壁・ユニットバス・浄化槽設置）2棟

☆　決算額の推移

決算額の状況					
年度	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
決算額	7,240	9,421			
対前年比		2,181			

☆　指標で表せない効果等

1 入居者がいる限り、必要な修繕、保守・点検が必要となる。
2 教員が厚真町に在住できる住環境を整備します。

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	②	3	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

指標で表せない効果等と同様

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

1 平成４年以前の建築住宅のユニットバス化等の環境整備
2 老朽化住宅の屋根・壁の塗装等の計画的な維持管理

事業名名
教員住宅維持管理事業

継続
〔予算方向性〕
継続

事業開始年度
昭和５０年度
事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	②	3	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

教員は地域に住んでそこの住民になることが望ましく、そのためには安心して働ける住宅環境を整備することが必要である。今後とも計画的な改修、維持管理に努めてもらいたい。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		106

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	1	教育委員会費

節	金額（千円）
計	0
補助金等の有無	無
〔　有　の　場　合　〕	
名称	
金額	

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

第３次厚真町総合計画（Ｈ１８策定）の基本方針に基づき複式学級の解消を検討しました。
町内に存する小規模小学校に児童数の減少が顕著に現れ、今後の学級編成や教職員の減少など厳しい状況に迫られるため、統廃合を念頭においた小学校配置計画を示して理解を求めました。
その結果、小学校配置計画に沿って富野小学校、軽舞小学校を閉校し、隣接の小学校に統合する運びとなりました。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容及び対象者等

⑴小学校配置計画を策定し、各関係機関と協議。
⑵統合の対象となる学校、保護者、地域との懇談。
・児童数の推移
富野小　H20 12人 H22 7人　H24 5人　H26 4人
軽舞小　H20 14人 H22 11人 H24 10人 H26 8人

４　その他事項

学校教育法及び北海道市町村立小学校の学級編成基準等により適正な規模を示す。

☆　決算額の推移

決算額の状況					
年度	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
決算額	0	0			
対前年比		0			

☆　指標で表せない効果等

小規模校ならではのメリットもあるが、学級を再編成する事によって教育環境の充実が得られる効果があるものと理解された事は大きい。

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	3	④	5
事業内容	1	2	3	④	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	3	④	5
総　　体	1	2	3	④	5

☆　コメントによる評価

指標で表せない効果と同様である。

事業名
複式学級解消検討事業

〔事業方向性〕
継続
〔予算方向性〕
継続

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

対象となる学校及び関係者に対し、今後の学級編成の推移及び複式学級におけるメリット、デメリットを懇切丁寧に示し、小規模校の今後のあり方について理解が得られた。

事業開始年度
Ｈ１９
事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	3	④	5
事業内容	1	2	3	④	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	3	④	5
総　　体	1	2	3	④	5

☆　点検・評価に対するコメント等

少子化の進行により児童数が減少している小学校の状況を数年前から検討を重ね、将来にわたる小学校の教育活動の維持と学校運営が安定的に確保される具体的な方策を示した小学校配置計画により、早期に複式学級の解消を図ることが出来ることを評価します。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		107

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	1･2･3	教育総務・小・中学校費
目	1	教育委員会・学校管理費

節	金額（千円）
13.委託料	1,358
計	1,358
補助金等の有無	有 ・ (無)

〔　有　の　場　合　〕

名称	
金額	

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

心身ともに健康な児童生徒の育成を図ることと、教職員の健康保持のため充実を図るものです。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容及び対象者等

⑴就学前児童の就学児童健康診断の実施（内科・歯科）　42名
⑵・内科・歯科検診（学校医実施）　全児童・生徒　365名
⑶専門医健診（耳鼻科・眼科）苫小牧医師会推薦医師による健診　全児童・生徒　365名
⑷結核健診　　委託先　（財）結核予防会北海道支部
一次検査　問診表による診断　　全児童・生徒　365名
二時検査　問診表による診断において何らかの異常が認められた者に対して、厚真町の結核健診時にﾚﾝﾄｹﾞﾝ撮影　該当者無
⑸心臓健診　心電図撮影　委託先　（財）苫小牧保健センター
小学校1年、4年、中学校1年が対象（93名）
⑹尿検査　委託先　岸本医科学研究所　全児童・生徒　365名
⑺寄生虫検査　委託先　岸本医科学研究所　小学校1～3年　91名
⑻ 教職員の健康診断
・胃検診、聴力検査、心電図検査　35歳と４０歳以上　　27名
・血液・結核・血圧・視力・尿検査　教職員全員　　46名
・人間ドック
15名（費用は共済組合と厚真町の折半）22,000円×1／2

４　その他事項

☆　決算額の推移

決　算　額　の　状　況					
年度	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
決算額	1,347	1,358			
対前年比		11			

☆　指標で表せない効果等

学校保健法・労働安全衛生法等の定めに基づき実施しているものであり特記事項はなし

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

学校保健法等の定めに基づき実施しているものであり特記事項はなし

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

学校保健安全法等の定めに基づき実施しているものであり特記事項はなし

事業名
児童、教職員健康診断委託事業

〔事業方向性〕
継続
〔予算方向性〕
継続
事業開始年度
事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

学校保健安全法に基づいて適切に行われていますので自己評価とおり妥当です。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		108

平成２０年度　予算の状況

款	９	教育費
項	２・３	小学校費・中学校費
目	１・１	学校管理費

節	金額（千円）
4.社会保険料	591
7.賃金	4,401
11.需用費	3,865
12.役務費	382
13.委託料	24,948
14.使用料及び借り上げ料	19
27.公課費	151
計	34,357

補助金等の有無　有　・　(無)

〔　有　の　場　合　〕

名称

金額

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

町内統合学校の児童生徒を対象として、通学の負担軽減の手段として厚真町教育委員会が所有するスクールバス（一部民間委託）を運行するものです。

２　事業主体

厚真町教育委員会（一部民間へ委託）

３　事業内容及び対象者等

⑴　対象者　遠隔通学者利用
①小学生　　１０６名
②中学生　　８８名
・路線数　直営　４路線（うち２路線　臨時運転手対応）
　　民間委託　３路線（委託料　24,948千円）

⑵　特別運行
①学校が行う社会学習等校外学習及び特別活動で町内外の運行
②保育園が行う園外活動の運行
③統合学校の児童によるプール使用に関する送迎運行
④学校スケートリンクを所有しない児童生徒のリンクまでの送迎運行

４　その他

①スクールバス購入費補助金
（平成19年度に1台購入）
②需用費の主な経費
ア燃料費　　2,178千円
イ車検整備費等の修繕料　　1,312千円
③平均運行時間（片道）　30分程度

☆　決算額の推移

決　算　額　の　状　況

年度	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
決算額	31,778	34,357			
対前年比		2,579			

☆　指標で表せない効果等

統合校児童生徒の通学負担の軽減、手段として有効に実施されることはもちろん、学校行事にも有効に活用され、統合後の円滑な学校運営の一役を担っています。

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	②	3	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

指標で表せない効果等と同様

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

１　現在、職員の定年に伴い、職員を補充せず臨時運転手による直営運行と民間委託を行い人件費削減に努めています。
２　今後、古い車両の更新も含めた中で財政削減について検討します。
３　軽舞小学校・富野小学校の統合後路線数などの検討も必要となります（現行の路線数では最長で片道1時間の路線が発生してしまいます）。

事業名：スクールバス運行事業

〔事業方向性〕
継続
〔予算方向性〕
継続

事業開始年度
昭和
事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	②	3	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

退職した正職員の補充を行わずに臨時職員や民間業に委託して経費の節減に努力していることに評価するが、地域性もあって効率的な運行には難しい面があるものの児童生徒の負担にならないような路線の確保に配慮していただきたい。
また、スクールバスは通学のみでなく、校外学習や部活動、他の団体等にも利用できるなど弾力的な使用が可能なことも評価します。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		109

平成２０年度　予算の状況

款	９	教育費
項	２・３	小学校費・中学校費
目	２・３	教育振興費
節		金額（千円）
報償費		131
需用費		549
役務費		39
委託料		23
備品購入費		18
計		760
補助金等の有無		有　・　�無
〔　有　の　場　合　〕		
名称		
金額		

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

総合的な学習の時間の目的は、これまで、とかく画一的といわれる学校の授業を変えて、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること、及び学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすることを目的としています。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容及び対象者等

⑴厚真中央小学校　栽培活動、情報、国際理解、福祉・ボランティア
富野小学校　作物の栽培、自然、社会、文化などの調査活動
上厚真小学校　英会話・国際理解、野外教室、栽培活動
軽舞小学校　菊作り、食（作物栽培）、国際理解、情報
厚真中学校　厚真に生きる（職場体験学習、調査活動）
厚南中学校　職業体験、稲作体験
小学校　3年生以上　159名　中学校　全学年　141名
⑵総合的な学習の時間のための講師謝礼、消耗品、通信運搬費、マイクロバス委託料

４　その他事項

☆　決算額の推移

決算額の状況					
年度	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
決算額	664	668			
対前年比		4			

☆　指標で表せない効果等

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

学習指導要領において、「総合的な学習の時間」が教育課程に位置付けられています。

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

学習指導要領において「総合的な学習の時間」が、教育課程に位置付けされています。

事業名：総合的な学習の時間実施事業

〔事業方向性〕
継続
〔予算方向性〕
継続

事業開始年度
H14
事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

各学校が課題を見つけ、自ら学び、考え、実践する総合的な学習の時間は多くの学校で栽培活動を取り上げ、子供たちに厚真町が農業の町であり、食の大切さを学ぶ絶好の機会と捕らえたい。最近ではそれぞれの学校で類似の取り組みが増える傾向にあるので、子供たちの興味が失せないような工夫も必要と思います。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		110

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	2・3	小学校費･中学校費
目	2	教育振興費
節		金額（千円）
共済費		465
賃金		3,141
計		3,606
補助金等の有無		有　・　㊟無
〔　有　の　場　合　〕		
名称		
金額		

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒を対象に特別支援教育支援員を配置することにより、学習活動や移動介助等への支援を行い、児童生徒のよりよい学習活動と学校生活の実現に資しています。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容及び対象者等

様々な障害を持つ児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援「特別支援教育支援員」を配置しています。

⑴配置校　上厚真小学校、厚南中学校

⑵配置数　各学校１人

⑶支援員2人 の賃金（始業時から授業が終わるまでの時間）

　雇用保険料、労災保険料など

４　その他事項

特別支援教育支援員配置事業実施要項（Ｈ１９.4.1施行）

対象児童生徒の判定は、厚真町就学指導委員会で審議しています。

☆　決算額の推移

決　算　額　の　状　況

年度	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
決算額	1,717	3,385			
対前年比		1,668			

☆　指標で表せない効果等

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	3	㊹	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援活動を行うため、個に応じた就学指導や特別支援員の体制整備ができています。

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

学校教育法第74条に努力義務の規定があり、経費の5割を地方交付税で措置されています。

事業名：特別支援教育支援員配置事業

〔事業方向性〕
継続
〔予算方向性〕
継続

事業開始年度
H19
事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	3	④	5
事業内容	1	2	③	4	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

特別支援教育は、平成１９年度から実施しており、児童生徒一人一人の教育ニーズを把握し、生活や学習活動上の困難を改善、または、克服するために支援員を配置して適切な指導と必要な支援を行っています。今後も障害を持つ児童生徒が安心して学習のできる環境を維持するに適切な支援が必要と思います。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		111

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
節		金額（千円）
共済費		5
賃金		912
需用費		40
計		957
補助金等の有無		有　・　無

〔　有　の　場　合　〕

名称	
金額	

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

中学校生徒たちが持つ悩みや心配ごとを気軽に話せ、ストレスを和らげることができる第三者的な存在として「心の教室相談員」を配置し、生徒が心のゆとりをもてるような環境を提供しています。

２　事業主体

厚真町教育委員会

３　事業内容及び対象者等

生徒に心のゆとりを持てるような環境を提供するため、中学校に「心の相談員」を設置しています。

（１）配置校　厚真中学校　厚南中学校

対象者数　141名

（H20実績　来室者1,735人　相談件数７件）

相談員2人の賃金（週3日、1日4時間勤務）、労災保険

４　その他の事項

☆　決算額の推移

決算額の状況					
年度	H１９	H２０	H２１	H２２	H２３
決算額	871	952			
対前年比		81			

☆　指標で表せない効果等

近年、全国的にいじめや不登校等の問題が発生する中で、生徒たちの心に不安や悩みからくるストレスがあり、アドバイスしてくれる第三者的な存在として「心の教室相談員」は生徒の心身の安定にも一役を担っています。

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	3	④	5
運　営　面	1	2	3	④	5
事業内容	1	2	3	④	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	3	④	5
総　　体	1	2	3	④	5

☆　コメントによる評価

指標で表せない効果等と同じであるが、相談がなくても気軽に来室する生徒が多くいて、教員以外の第三者を委嘱することへの効果が大きいことが認められ、継続した配置が必要であることが認識できます。

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

平成10年度ふれあいサポータ設置事業として開始、引き続き現在まで町の単独事業として実施して来ましたが、今まで特に大きな問題となる行動はありませんでした。

事業名
心の教室相談員配置事業

〔事業方向性〕
継続
〔予算方向性〕
継続

事業開始年度
H10
事業終了（予定）年度

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	3	④	5
運　営　面	1	2	3	④	5
事業内容	1	2	3	④	5
財　政　面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	3	④	5
総　　体	1	2	3	④	5

☆　点検・評価に対するコメント等

思春期を向かえる児童生徒が心身ともに健やかな状況で学習活動に参加することが望ましく、気軽に色々な悩みを相談できる環境をつくることは生徒指導の一環でもあり、引きこもりがちな子供の心を開く大きな成果を出しています。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成２０年度事務・事業分〕

グループ名	学校教育グループ	事業番号
		112

平成２０年度　予算の状況

款	9	教育費
項	5	保健体育費
目	3	学校給食センター費
節		金額（千円）
共済費		2,439
賃金		16,920
需用費		28,890
役務費		613
委託料		2,646
使用料及び賃貸料		102
計		51,610
補助金等の有無		㊀有　・　無
〔　有　の　場　合　〕		
名称		学校給食賄材料納付金
金額		20,771

〔　事務・事業の写真等　〕

〔　事　務　・　事　業　の　概　要　〕

１　目的及び効果

学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、地元食材の活用やバランスのとれた栄養豊かな食事を提供するとともに学校給食が「生きた教材」となり、子どもの望ましい食生活の形成や食に関する理解を促進し、厚真町の子どもの豊かな心と健康を育むことを目的としています。

２　事業主体

厚真町学校給食センター

３　事業内容及び対象者等

⑴給食センターの管理運営
①給食の日数　190日　・給食の形態　週/米飯3日、パン1日、麺1日
②給食人数　児童生徒、教員等で440人（うちアレルギー等対象者4名）
⑵学校給食センター運営委員会の開催（平成20年5月28日）
①平成19年度給食センターの運営状況及び平成20年度運営計画
②平成20年度学校給食に関する年間基本計画について
⑶、食に関する指導の取組み
①子どもたちに、望ましい食習慣を身につけるため給食時間を中心に教科、特別活動等における児童生徒への教育指導
（給食指導 65回、教科等におけ指導 45時間）
②児童生徒への個別的な相談指導
アレルギー等の児童生徒が抱える個々の問題に適切に対応（対象児童数4名）
③学校給食を通して学校と家庭との連携
「献立表」を作成し、日々の学校給食の内容を児童生徒、保護者に知らせ、学校との連携に努めています。
保護者との「食の座談会」等の開催（4回）
⑷、地域の特色を生かした学校給食の実施
①地元食材を優先した給食の提供
②「厚真の日」の設定　7月から10月までの間、月に一度、牛乳・調味料以外

☆　決算額の推移

決　算　額　の　状　況

年度	H１９	H２０	H２１	H２２	H２３
決算額	52,527	50,512			
対前年比		-2,015			

☆　指標で表せない効果等

栄養教諭制度の導入により、学校における給食の時間や教科、特別活動など通して、児童生徒への食に関する指導の充実や衛生管理及び調理指導の徹底が図られています。

☆　事業評価（自己評価）

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	3	④	5
財　政　面	1	②	3	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　コメントによる評価

平成19年度以降、原油価格高騰等の影響により賄材料費がそれに追随して高騰していることから、給食費の改定について検討の必要があります。

点　検　・　評　価　に　あ　た　っ　て　特　記　す　る　事　項　等

本町の給食センターは、北海道初のHACCP概念による衛生管理方式を取り入れたオール電化厨房システムを導入していること、また、開設当初から食物アレルギー対応食を提供していることから全国的に注目を浴び、自治体、報道機関等の取材・視察が大変多くなっています。

事業名	〔事業方向性〕	〔予算方向性〕	事業開始年度	事業終了（予定）年度
学校給食センター管理運営事業	継続	継続	平成１２年度	

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆　点数による評価

	要改善	要検討	妥　当	良　好	的　確
準　備　等	1	2	③	4	5
運　営　面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	3	④	5
財　政　面	1	②	3	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総　　体	1	2	③	4	5

☆　点検・評価に対するコメント等

食の大切さが認識されている今日、学校給食の果たす役割はますます大きく、子供たちの心身の発育に大変貢献していると言えます。また、食材の地産地消の活用やアレルギー対応食、行事食など厚真町独自の給食を提供するといった創意工夫も評価すべきもので、今後とも継続していただきたい。